

やましろ

2017年3月

第23号



普及センターだより

宇治茶ブランドのさらなる発展を目指して!

山城地域は京都府内産茶の95%を占め、煎茶、玉露、かぶせ茶、てん茶等の多
種類のお茶を生産する「宇治茶」の主産地です。普及センターでは宇治茶のプロジ
ェクトチームを中心に、出品茶生産や育苗技術、はさみてん茶の安定生産指導、G
AP推進等の活動により、安心・安全で高品質な宇治茶生産を支援しています。
「お茶の京都博」を契機に宇治茶の一層のブランド力向上が期待されます。



茶園の地図を見ながら茶園の配置、形状、
危険箇所等の情報を共有(GAP推進)



てん茶品質の一層の向上のため、
求評で品質を確認

京都府山城北農業改良普及センター

〒610-0331 京田辺市田辺明田1 TEL.0774-62-8686

ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/fukyu/karadouso>

京都府山城南農業改良普及センター

〒619-0214 木津川市木津上戸18 TEL.0774-72-0237

企業の活動で経営拡大を目指す農業者を支援しています

普及センターでは、農業者の所得向上のため、6次産業化や農商工連携、販路拡大、雇用などによる経営拡大を目指す農業者の支援を行っています。

販路拡大の支援では、京都府などが主催する「きょうと農業ビジネス商談会」への参加を促しました。普及センターは商談に必要な資料の作成、話の進め方、ブースのレイアウトなどの助言を継続的に行いました。



商談会の様子

また、商品の価格設定や商談会当日を想定した模擬商談などにより実践的な支援を、農業ビジネスについて専門的知見を持つ「農業ビジネス応援隊」と連携して実施しました。さらに、関係機関と連携を取りながら、その後の企業への対応や商品の売り込み方法、継続交渉の助言などのアフターフォローを行いました。その結果、大手百貨店や老舗料亭、小売店などの取引が始まっています。

普及センターは企業の活動へ向けた相談について随時受け付けていますので、新たにチャレンジしてみようという方はご相談ください。



商談サンプル用の米の選別

普賢寺区の将来ビジョンをみんなで考える！～農地はわたしたちが守る～

普賢寺区は同地区の将来ビジョンをまとめるために、定期会議を設けて話し合いを進めています。

平成27年度に区内全農家を対象に農地の活用状況と担い手の実態について、アンケート調査を行いました。その結果「高齢化で何年後に農地を預けたい」「担い手はいない」等地域の直面している状況が明らかになりました。



普賢寺区集落会議での話し合い



岡村アグリクラブを視察、組織づくりを学ぶ

そこで、区役員や将来を担う若手農家、地元農業委員、京田辺市とともに普及センターも加わり、実態調査をもとに解決策の話し合いを進め、府の専門家派遣制度を活用し、集落営農の組織づくりについて学びました。さらに、増加する耕作放棄地や担い手不足、農地の有効活用のため、近隣の集落営農組織の事例を視察する等して、普賢寺区に適した組織の体制づくりや運営方法について議論を深めています。

～農業を安全に正しく使いましょう！～

花菜部会活動スタート

京都やましろ農業協同組合花菜部会は京田辺市、八幡市、井手町、笠置町の生産者14名で平成28年11月10日に設立され、活動を開始しました。

新たにできた花菜部会では、従来とは違う新しい出荷形態（スタンドパック）で出荷しています。主に東京方面に出荷され、市場の評価も上々です。

初めての試みのため、目合わせ会等で茎の長さ、詰め方等を検討しながら取り組んでいます。



現地研修会

栽培については、部会役員、JA、普及センターと一緒に各ほ場を巡回し、施肥や病害虫の対策、頂花蕾の収穫等を指導しています。

また、普及センターでは、調査ほを設置し、地域に適した品種や種時期を検討し、今後の栽培に活かしていきます。

花菜部会が発展し、新たな産地となるよう、今後とも、関係機関と一丸となって支援していきます。



目合わせ会

茶品評会農林水産大臣賞受賞者の声

☆第70回全国茶品評会

てん茶の部 宇治市 辻 喜代治さん

この度大臣賞を受賞したことを大変光栄に思っております。お茶摘みさんや、丁寧な製造工程で製茶をして下さった製茶工場の皆様、地元生産組合や関係機関のおかげと深く感謝しております。

近年は気象の変動が大きく、被覆や摘採時期の判断には苦労しましたが、先人の築かれた宇治茶製造を受け継ぎ、新しい技術と調和させながら今後とも伝統ある宇治茶生産に努めていきたいと思っております。

てん茶の部 宇治市 古川 嘉嗣さん

昨年の春先は天候が安定せず、被覆開始時期や摘採期の判断に苦労しましたが、出品茶を製造するという信念を持って、一芽一芽を大切に製茶しています。お茶の栽培には、自然との調和が欠かせないことから、五感で感じる季節の移ろいを製茶に活かしています。地元宇治で開催された品評会で大臣賞を受賞でき、産地賞の獲得にも貢献できたことを非常に喜ばしく思っております。

☆第69回関西茶品評会

かぶせ茶の部 宇治田原町 勝谷 健士さん

出品茶に取り組んで2年目ですが、慎重な茶園管理に加えて、お茶の栽培に適した宇治田原町という風土、関係機関の出品茶園巡回による摘採日の判断が適切であったことや、苦労して集まっていた大勢の摘み子さんで短時間に摘めたことが受賞を後押しして下さったと思っています。煎茶の製法発祥の地である宇治田原町が産地賞を獲得できたことは、自身の大臣賞受賞と並んで大変光栄なことだと思っています。

玉露の部 京田辺市 出島 藤司さん

今年出品した「さえみどり」は、青く冴えた外観が高い評価を受ける一方、寒さに弱く栽培管理に苦労する品種ですが、被覆資材や被覆方法を工夫して、霜害を受けやすい地域での栽培技術を向上させることに取り組んでいます。出品茶園のある飯岡は「日本遺産」や「京都府景観資産」に認定されており、その地域に相応しいお茶となるよう、今後も高品質なお茶の生産に努めていきます。

煎茶の部 南山城村 (農)グリーンティー高尾

組合創設18年目になりますが、組合員全員が一丸となって出品茶に取り組んでいます。出品茶園は、組合員の輪番制をやめて一箇所に定めて、今年度地元で開催された関西茶品評会で大臣賞を目指して栽培管理に取り組んできました。今後とも組合で統一した茶園管理を行い、地域特産であるお茶を守り育てていきたいと思っております。

～築いていこう 男女共同参画社会～

京のやましろ農業応援隊の活動

新しく農業を始めようとする若者に段階に応じて、今年度は新規就農相談15名、就農後の定着に向け17名に野菜栽培技術指導や補助金申請相談等を行いました。

農業ビジネス関連として商品パッケージの作成助成、商談会への参加支援、商工会経営指導員やJAとともに、料亭及び仕出し屋さん等街の実需者と農家をつなげる活動等を行いました。

農業応援隊ではチャレンジするみなさんの伴走支援を行っています。

平成28年度 新規認定京都府農業士

○指導農業士

(敬称略)

氏名	市町村名	部門
福井 景一	宇治市	茶
西川 幸次	京田辺市	水稲＋野菜
中窪 耕司	南山城村	茶＋水稲
東尾 正明	南山城村	茶＋水稲

よろしくお祈りします！

○女性農業士

(敬称略)

氏名	市町村名	部門
多田 敦子	宇治市	茶
西山 光代	宇治田原町	野菜＋水稲
東 テル子	和東町	茶

○青年農業士

(敬称略)

氏名	市町村名	部門
松阪 泰佑	宇治市	茶＋水稲
大川 敬剛	宇治田原町	茶＋水稲
大谷 英明	宇治田原町	茶＋野菜
仲 純輝	南山城村	茶

お知らせ

※詳細は、普及センターまでお問い合わせください。

◎就農相談会

毎月第3木曜日開催

◎平成29年度就農者基礎講座・拡大専門講座

平成29年5月～11月(全11回予定)

「お茶の京都博」開宴



京都府では、宇治茶の魅力発信による地域の賑わいを創出するため平成29年4月から1年間にわたり、山城地域の12市町村を舞台に「お茶の京都博」を開催します。

オープニングイベント

～さくら茶会～

【日時】平成29年4月1日(土)・2日(日)
【ところ】淀川河川公園背割堤地区(八幡市)
【内容】開会宣言、一万人の宇治茶BAR

メインイベント

～宇治茶博@文化～

【日時】平成29年10月21日(土)・22日(日)
【ところ】宇治市内
【内容】一坪茶室、一万人の宇治茶BAR

～宇治茶博@産業・国際交流～

【日時】平成29年11月10日(金)、11日(土)
【ところ】文化パーク城陽(城陽市)
【内容】茶産業展、茶産業カンファレンス
茶産業国際ビジネス交流会
ワールドティーパーティー

※詳細、その他のイベントについては実行委員会のHP等をご覧ください。

お詫びと訂正について 2016年10月発行の22号3P「…山城の頑張る若手農家…」の山口様のお名前が間違っておりました。正しくは「展幸」様でした。お詫びして訂正いたします。

～余裕のある作業で、事故を防ぎましょう！～